調査期間　2020年5月20日16:00～6月1日18:00

三重県における文化芸術関係者の新型コロナウィルス影響に関する実態調査

アンケート調査の自由記述

▼調査主体：三重県内の文化芸術に関わる有志一同
馬場浩子（声楽家　名古屋芸術大学教授）
宮璃アリ（女優　パーソナリティー　演劇制作者）
田中綾乃（三重大学人文学部准教授哲学専攻　演劇評論家）
鳴海康平（演出家第七劇場）
中山剛（ミュージシャン ライブハウスMAX'A代表）
▼アドバイザー：大澤寅雄氏（ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員／文化生態観察）
▼アンケート事務局
〒514-0008　三重県津市上浜町３丁目５１番地　特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ

油田晃（演出家　脚本家　津あけぼの座運営）山中秀一（舞台監督　有限会社現場サイド代表）

＜ 個 人 対 象 ＞		
意見		「働かざるもの・・・」ではないが、なくなった公演や講習に対する補填というのは、制度としてあるものを利用するのはまだしも、それ以上の要求をするというのには抵抗がある。文化芸術というのは声の大きい分野で、オーディエンスもついているため世間に物申しやすく、同等かそれ以上に苦しんでいる他業種があること、それらも文化芸術とは別種の価値があり、その背後にはそれぞれの生活があることなどを忘れてはいけないし、芸術分野を特別視するような行き過ぎた要求は被害者を演じているように受け取られかねないし、いざ再開となった時に嫌悪感を持つ人が多く出そうなので、昨今メディアを通じて表に出ている「芸術界を代表した」意見には危機感を覚えている。
意見		歌うことが悪であるような取り上げ方が悲しすぎる。声を合わせハーモニーを作ることが、子ども達の心や脳にどれ程たくさんの良い影響があるか想像できる人はいないのか、それを奪われた子ども達がどんな大人になるのか……声を出さずに心で歌う？ふざけているとしか思えない。やり方はあるはず。例えば一つの策として、マスクをしてフェイスガードをすればよいのでは？今まで、日本中の少年少女合唱団がどれだけの歌声を人々に届けてきたか。いろんな施設へ出向いて人々の心を癒してきたか。歌う側も受けとる側も必要としていたのです。子ども達の心の成長に、歌唱指導は必須です。実際に声を出して歌うことは必須です。安全なやり方はあります。声をあげてくれる有識者はいませんか？
意見		芸術への行政の軽視、芸術の自主規制が心配です。
意見		今回のコロナを受けて、いろんなことが淘汰されていくんだろうなぁ、と思います。その中で、芸術分野においても、ますます芸術に打ち込む人とそうでない人が二極化するような気がするし、それはそれでいいことなのかもしれません。やりたい人がやりたいことを一生懸命やることで、芸術の質を上げたり、輪を広げたりしていければ、コロナのおかげといえるのかもしれません。
意見		司会業、特にウエディング関係の仕事は、ガイドラインに従うなら、根本から従来のやり方を見直す必要がある。 新郎新婦さんが、本当に望む形のパーティーなのか？？
意見		私は管楽器を演奏し生計を立てていますが、例えばドイツやオーストリアといった諸外国では管楽器などのエアロゾル実験が行われ、研究結果が発表されており、管楽器が原因による飛沫感染はありえないとデータがでてきていることから、演奏活動の再開は可能と考えています。しかしながら、集客面などがクリア出来ていないところから、現在関係者の方々と頭を捻らせています。よいアイデアに巡り会えればよいのですが。。。
意見		人命が第一。その後経済。娯楽の順
意見		文化、芸術については、新型コロナウイルスの影響だけでなく、伝統に対する保護や支援制度の充実を望みます。若い世代が芸術に親しみ、中高年世代も文化的に豊かに暮らせることで、ストレスフリーに繋がると思います。ヨーロッパなどでの文化への支援を日本は学ぶ必要があると考えます。また、このままで、現在の日本人は、美しい日本の文化を残していけるのか疑問です。みんなで、声を届けたいと思います。
意見		文化芸術の新たな観賞スタイルを早急に協議し、生み出さないといけないと感じます。 吉本新喜劇みたいに テレビと三重の文化芸能の連携がもっとあればいいのにと感じます。 ショップチャンネルをただ並べただけのテレビは三重らしくないと感じます。

＜ 個 人 対 象 ＞		
意見		今後、仮に今後発表の場が出来たとしても、そういう場に来場しようという気になってくれる人がいるのか。今現在、そのような雰囲気が全く無いため、そのような機会があったとしても、告知することさえ憚られるような雰囲気がある。そういった話題さえ口に出せない。誰もそれを望むような話題をしなくなった。 同じような活動をしている人達の間との感じ方考え方の差が、ますます広がってしまったように思う。
意見	指導育成	若手の教育
願い		とにかく治療薬、予防法が出きるのを待つしか無いのか？
願い	指導育成	若い人に支援してやって欲しい。 希望を失わないために。
願い		早くコロナが終わる事
願い		早くコンサートや演劇などの公演が再開されて欲しいです。
困りごと		広告が集められない、集めにくい。
困りごと	指導育成	６月から自宅個人レッスンは再開しますが、少人数でもコーラスの再開は基準が分からず再開未定です。
困りごと	指導育成	アマチュアの音楽団体3つに所属しています。 集まることすらできないため、団体としてのまとまりを維持すること自体に困難さを感じます。 内ひとつはラインやzoomを活用した情報交換が比較的活発ですが、なかなか難しい団体もあります。 全体的に年配の方も多いので、オンラインツールの使用が難しいと思っている方も、ある程度はいらっしゃいます。 また、年配の方にとっては活動に参加することが健康維持に繋がっていることも多いので、長く活動できないことで、身体的な機能低下が進む可能性もあり心配しています。
困りごと		いつも公民館を借りて練習していますが、60才以上の団員が多く、練習となるとどうしてもボディタッチなどやアイコンタクトで掛け合うなどの練習になるため、ソーシャルディスタンスは難しいです。どうやって、練習していったらよいのでしょうか？ また、地域のお祭りで資金を作っているのですが、全て中止になりました。
困りごと		この状況下では、何もできない　光が見えない不安が多く先に進めない
困りごと		まだ、現在、活動ができずにいます
困りごと		稽古をする場所の確保の費用の支援が必要。 ホールの全面自由使用の期日の見込み。このことがわからないと公演予定がたてられない。稽古予定もたてられない。

＜ 個 人 対 象 ＞		
困りごと		現在の取り組み…合唱団のzoomを使っての定期的ミーティング。リモート合唱。 練習を再開するタイミングが難しいです。 個人的には普通に活動出来るようになるまでに1年以上はかかるかな。と思っています。 他団のみなさんは再開時期をどのように考えてみえるのか、知りたいです。
困りごと		合唱に関わっています。お先真っ暗です。リモート合唱など、模索されていますが自分としてはありえません。半ば諦めています。
困りごと		合唱はコロナに感染する確率が高い為、いつになったら練習が再開できるのか、再開してもマスクを着用していないといけないのか、他の団体はどのような対策をしているのか知りたい。
困りごと		合唱をしていますが、どのような状態になったら練習再開できるのか先が見えないままでいます。
困りごと		合唱団指導ができず、公演の目途が立たない。個人としては8か月後のリサイタルに向けて練習を継続している。
困りごと		今、とても悩んでいることがあります。 私は音楽活動の１つとして、小人数の合唱グループを結成し、活動をしています。 年度当初より市のある施設から、6月に開催される屋外コンサートへの出演依頼をいただきました。しかしコロナ感染の影響で、コンサートの開催は未定とされ、現在まで来ました。 現在、様々なことが緩和されたため、コンサートについても、『屋外で間隔を空けてなら開催可能』との判断から、どうやらコンサートが開催されるようです。 しかし現在も、国や県の感染拡大防止の指針には、『歌は十分な距離かオンライン』とされています。全日本合唱連盟理事長さんからのメッセージには、『当分の間、合唱の練習を取り止めて』と書かれています。三重県合唱連盟も同じです。 国、県、合唱連盟の方針からは、私達が本番を迎えるために練習で集まることは、時期尚早だと読みとれますし、私達自身も、目に見えないコロナウィルスの感染リスクや、岐阜で出た合唱団のクラスターのことを考えると、練習を再開することが怖いです。しかし、市の施設はコンサートを開催するとおっしゃっています。 一体、どこの指針、方針に従えばよいのでしょうか？
困りごと		今のところ持続化給付金でなんとかなりそうですが、また第2波、第3波がくると仕事に影響が出そうです。
困りごと		今年3月に開催予定だった合唱フェスが中止となり、準備していたチラシ等印刷物が無駄になった。その費用を参加予定者で按分し、800円個人負担となった。また、5月末に開催予定だった演奏会も中止となり、そのチラシ等印刷物の費用も個人負担となり、金額はまだ知らされていないが数千円程度の負担と思われる。

＜ 個 人 対 象 ＞		
困りごと		支援策などがどういったものかがあるのかわからず・・・すべて印たものなどがあればいいなと思う。活用方法なども載っているもので・・・実践していることとしては大学での遠隔授業　ZOOM等によるミーティング　インスタライブなどでの配信などしているがすぐにお金に結びつくようなものではない。
困りごと		私の活動は合唱です。感染が減り他の分野では活動再開しても合唱はまだしてはいけないと言われそうです。 晴れて活動できるにはどのくらいまで休止すればいいのでしょうか？
困りごと		大人数で声を合わせるということ、クラスターが発生したことで、合唱に対する考えが厳しいです。いつ頃から感染対策をして始めても良いのか思案しています。
困りごと		派遣社員として舞台芸術に関わっている。公演が中止になり、本来あるはずの仕事がなくなり収入減。また、金銭面での個人的な打撃はないが、ボランティア活動で音楽フェスの実行委員をしており、そちらも中止が決定。それとは別に個人での創作発表並びにレッスン再開のメドも未だ立たずです。
困りごと		本来こども創作ミュージカル公演を活動の軸としてきたが、集まれないので、休校期間を利用して、Zoomを使ってのワークショップ（創作・歌唱・作曲・体づくり・アクション等）を企画実施し、さらに参加者の発案でオンライン公演配信しました。ノウハウ等ない部分もありましたが、がんばりました。学校再開に伴い子供たちの負担もかなりのものだろうと推察され、集まることもやはり憚れるところないので活動は一旦お休みに入りました。
困りごと		密集、密接を避けて、少人数でのかつどを再開している。舞台での公演を行うためには、リハーサルを含め、密集になることが避けられないので、困っている。
オンライン		Zoomアプリを使いレッスンをしようとしたが、グループレッスンなのでうまくいかず。他にいい方法はないか、模索中。
オンライン	指導育成	オンラインでの稽古
オンライン	指導育成	オンラインでの講座提供をした際の適正な価格はどの程度であるかや、料金をどのような方法で支払っていただくようにするのが便利なのかなど、三重県という土地柄、また、受講生の方の年齢別に入口から出口までの方策を知りたい。
オンライン	指導育成	オンラインでの作品発表　楽曲のネット配信　オンラインレッスン　メール指導
オンライン	指導育成	オンラインでの自主的な指導を受けている
オンライン		オンラインで仕事する。
オンライン	指導育成	オンラインのワークショップをするにしても、今まで市を挟んで取り組んでおりましたので、金銭の発生をどのように取組していいのかがいまいちわかっておりませんので、県が間に入って勧めてもらえると助かります
オンライン	指導育成	リモート合唱を無料アプリで実施

＜ 個 人 対 象 ＞		
オンライン	指導育成	合唱団に所属しています。通常通りの練習ができない状態が3ケ月続いています。 団員間のモチベーションを保つために、zoomによる定期的な親睦会を開いています。 合唱団Lineを開設し、コミュニケーションをとる取り組みをしています。 これらの取り組みに参加できない団員には個別に話題を提供しています。
オンライン	指導育成	ピアノオンラインレッスンを行なっていますが、高齢者にはオンラインを使わない方がいらっしゃったり、子供でも顔が映ることに抵抗のある子もいたりします。 音は生の音というわけにはいきませんが、それなりに指導できることはあるので、またの不測の事態に備えて、また準備したいと思います。
オンライン	開催基準	オンライン動画の配信や、弊館と関わりがあり支援を必要としているアーティストの紹介、大会場で50席限定の演劇公演、コンサートの企画などを実施。
オンライン	配信	映像コンテンツの製作・配信
オンライン		オンラインミーティング
オンライン		オンラインミーティング
オンライン		オンラインミーティング
オンライン		オンラインを活用している
オンライン		オンライン練習
開催基準	金銭支援	公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援はあるべきだし、早く人々が、 安心していろいろな場所に行けるよう、感染の確認検査を自治体が独自に率先して発揮してほしい。
開催基準	保険	手探りの中、可能な範囲での活動の再開を目指していますが、時期の設定などが難しい。又、もし公演に寄り感染者が出た場合の保険のようなものがあったら考えたい。
開催基準		収容可能人数の拡大方法
開催基準		これを機に、施設の適正な改修と、確実な運営方法のガイドラインの作成と一般への周知。運営管理側の再教育。など。
開催基準		どうなったら音楽活動を再開してもいいのか、その指針を教えてほしいです。
開催基準		どのような公演、また準備なら可能なのか、具体的な例をあげて欲しい。
開催基準		開催のめどがたっていないので、どのような形で開催できるか方針を明確化してもらいたい。
開催基準		活動再開に向けての指針が欲しい
開催基準		合唱の再開が可能となる環境条件が不確かなので、再開を躊躇っています。 具体的な指針が示されると有難いです。

＜ 個 人 対 象 ＞		
金銭支援	意見	私は自身もフリーランスで芸術活動をしながら美大で教員をしています。その中で感じるのは、文化芸術は広い土壌の中で育まれる、県、国、人類の財産であると考えています。モナリザという一枚の絵にまつわる経済価値を考えるとご理解いただけると思いますが、芸術が精神的な支えであるという（言わずもがなこれも重要な観点ではあるが、）抽象的な意味づけにとどまる事なく、芸術の意味について議論される事が、この県、国の形を形成する上でとても重要であると考えます。芸術が成果を得るまでに時間はかかりますが、このコロナ禍で文化は瀕死の状態であり、今生き生まれ始めている舞台や音楽、美術が無いものになってしまうかもしれない。もともと厳しい環境の中で制作を続けてきた多数の芸術家たちが、日々の暮らしでさえ厳しい状況に置かれています。芸術を取り巻く環境をおおらかに整え、育てていく姿勢がそれぞれの自治体や国に問われています。以上の理由で私は三重県に文化芸術活動に関わる県民全てに一律の現金給付を希望します。
金銭支援	意見	主に愛知県内の小劇場にて演劇公演を上演、出演する活動を行っているが 今後、劇場が再開されるにあたり、劇団や主催者だけでなく、劇場側からも感染予防対策をしていることを広く周知していただきたい。 劇場、ライブハウスに人を戻すためには個々だけでなく、一丸になって取り組まなければ、このまま消えていってしまいます・・・。
金銭支援	意見	文化は生きていく上で、必要不可欠と思います。文化の灯を消さないよう、粘り強い取り組みが必要で、公的機関からの更なる支援を願います。 若者に文化を、繋いでいくのは大人たちの責任です。
金銭支援	継続支援	公演は中止する事はなく実施したものもあったが、実施するための予防対策の費用がかなり必要となった上、チケットのキャンセルも相次ぎ収支としてはマイナスとなってしまった。その後、感染拡大により関わっていたワークショップや公演は全て中止となり、損失のみが増え金銭面でかなり厳しくなっている。今後の事を考えようにもお芝居の稽古から密の状態を生んでしまい、対策をしようにも費用も厳しく、文化活動を継続するのが厳しい。三重県内でも文化・芸術は生まれている。この文化・芸術活動を途絶えさせない為にも継続へのもう少し現場にあった提案そして支援を希望します。
金銭支援	継続支援	感染が終息して経済活動が復旧するまで、給付金を継続して給付して欲しい。
金銭支援	継続支援	文化活動に対して一時金ではなく継続的な給付を期待しています。
金銭支援	間接支援	今後、自由に文化活動を再開出来るようになった際には、公的施設の使用料の減額など、文化活動がより活性化するように、助成があればと思います！
金銭支援	オンライン	今後第二波第三波が来ると言われている中、コンサートやイベントの企画がなかなか出来なくて、現在は無料配信(Facebook、Instagram、YouTube等)が活動の場になってしまっています。他県(東京や愛知)のように、映像作品をウェブ上で配信するなど、文化芸術活動支援をよろしくお願い致します。
金銭支援		少しでもいいので給付金を考えてほしい
金銭支援		文化芸術の裏方職への支援が全くありません、直接お金の動く施設や講演事業所だけでなく。その現場を渡り歩く裏方業にも支援してください
金銭支援		ライブハウス、スタジオ等に対する支援をしていただきたい。アマチュア音楽家の練習場所、発表の場所として重要な場所です。
金銭支援		現在、イベントなどが再開できない状態ですが、長引くようなら、第二次第三次の、支援策を市や国に検討してほしい。

＜ 個 人 対 象 ＞		
金銭支援		持続化年金なども分からないなりに取り組んでいますが、3月からすべての仕事がなくなりましたが、年金や大学時代の育英会奨学金の法外な延滞金の支払い、生命保険、支払いすべてが期日が迫るばかりで、その際に世の中の皆さんへのエールの演奏を無料でと申し込みがある自治体など、演奏家や音楽関係が一番最初に自粛となり、一番最後に解除となる仕事で、今年のイベント、営業すべて見通しが立たず、何度か死を覚える日がありました。それでもエールを無料でお願いがあり、みんなの為にと思いますが、自分も彷徨っている時で見通しが立たないので、今後の支援策を何卒宜しくお願い致します。
金銭支援		愛知県と同等の施策を展開して
金銭支援		名古屋の様なアーティストに対する支援を三重でもやってほしい
間接支援		合唱に関する練習場所の提供（70人）
間接支援		イベント・興業再開に向けた補助、広報協力、誘致協力
間接支援		今回のコロナ禍で中止になったイベントの代わるイベントが会場確保に便宜を図ってもらいたい。
間接支援		いつもの練習会場だと対人距離が確保できない。公共のホール等の利用料を減額するなどのサポートがほしい。
コロナ対策	意見	抗体検査などの実施を行い感染の有無など把握して心理的な安心があればいろんな事にクリエイトできる
コロナ対策		消毒液(エタノール等)が不足している。
実践共有		レッスン前にて指の消毒、マスク着用、換気、生徒さんと生徒さんの間隔をあける。
実践共有		換気対策で網戸の設置を行いました。今後、扉を通気口のあるタイプにしたいところですが、予算が必要で検討中です。
実践共有		今後新しい生活様式を実践しながらどのようにオーケストラの演奏活動を再開していけば良いか団内で意見交換しているところである。
実践共有	オンライン	三重と愛知を拠点に活動しており、月3回程演奏やレッスンに帰って来ている者です。東京や愛知は芸術家に対する支援がありますが、三重はまだなく残念に思います。芸術家の数が少ないのもあるかと思いますが、現在の対応だと三重は芸術家にとって住みづらい(必要とされてない)街に感じます。私達は２月頃からコンサートやイベント出演等の中止で経済的にも打撃があり、３、４月からは小さなライブハウスでの演奏や生活の支えであるレッスンも出来なくなりました。今後ライブハウスの営業が始まったとしても、お客様が戻って来るには時間が必要と感じますし、私自身も感染の不安があります。 一旦休会となった生徒様も半数くらいがまだ再開には至っておらず、せっかく何年も掛けて築き上げてきたものが崩れていくのが辛く感じております。 第二波、三波とこの様な状況が続くと今後の生活が不安です。長期的な支援をして頂けると幸いです。 現在、収益には繋がっておりませんが、インスタグラム等でネット配信ライブを今までに２回行いました。 レッスンのオンライン化。 今後の演奏活動は野外でのコンサートを中心に考えています。

＜ 個 人 対 象 ＞		
実践共有	オンライン	動画を活用し個人で基礎練習
実践共有	オンライン	この機にYouTubeでの配信を始めた
実践共有	オンライン	緊急事態宣言が出されていた期間に、少しでもみな様のお役に立ちたく、無料の動画ライブや、YouTubeでの動画配信を始めました。今後も継続していく予定です。
実践共有	コロナ対策	自宅教室で行う予定だった材料を生徒さんに購入してもらい、LINEを使って質疑応答しながら創作を行なってもらいました。 今後、自宅教室再開の際には手指消毒の徹底や換気、マスクの着用の他、透明のビニールカーテンか、アクリル板の衝立を用意を検討しています。
実践共有		自主制作のCDを売って食いつないでおります。
実践共有		持続化給付金を検討中
実践共有		署名運動をしております
実践共有		文化芸術、イベント等再開に関するガイドラインを鈴木英敬知事に申入れ、早急に作成することを約束してもらった
実践共有		ギャラリーの閉鎖による休業協力金の申請はしました。 その他として、秋意向の主催イベントを開催できるように準備しています。
実践共有		まだない。
実践共有		微力ですが、個人的にご縁があるライブハウスやアーティストさんが販売するグッズを購入したり、有料の無観客ライブの観戦、クラウドファンディングの支援と、その情報を自分のSNSでシェアするくらいです。

＜事業所対象＞		
オンライン		映像コンテンツの製作・配信、寄付のお願い
オンライン		演奏動画を配信した。オンラインレッスンを実施。
オンライン		・演奏動画を配信しました。　・オンラインレッスンを実施しました。
オンライン		スマホでビデオ会議を使用している
開催指針		自治体により対応などがまちまち、三重県で統一していただきたい。
開催指針		野外イベントの開催ガイドラインを出してほしい。
間接支援		観客を減らさざる得ない現状を鑑みますと、公演活動を再開するときの会館使用料の免除や減額をご検討いただければ幸いです。
金銭支援		本社が県外ですが、三重県を活動地としているため、支援があるとありがたい。
金銭支援		しばらくの間給付金が出ればと思う。
金銭支援		コロナが長引いた場合の給付金の制度を明示してほしい。
金銭支援		一定の損失補償ではなく、実質的な損失補償が必要。個人でも、企業でも。
金銭支援		支援額の拡充と安全策の見直し
困りごと		持続化給付金について担当に問い合わせようとしても全く電話が繋がらない
実践共有		飲食店に関しては週末営業のみ、営業時間短縮、従業員の人員カット
実践共有		クラウドファンディングを使わず、支援団体等により寄付を募っていただきました。
実践共有		オンラインレッスンなどの取り組み
情報共有		同業の他の方々がどうされているのか情報が欲しいと思っている

＜事業所対象＞		
情報共有		自宅の音楽個人レッスンは5月21日より 再開しております。ただ、レッスンに来るか来ないかは、各ご家庭の判断に任せ、委ねています。私個人としては、合唱団にも 4つ関わっておりますが、どのように県内の他の団の皆さんが再開を考えておられるのか、気になっています。慎重に再開していきたいので、県内の合唱団の状況など 知りたく、情報交換をしたいです。
その他		スタッフのメンタルケアについては、オンラインを使用したりして対応しています
願い		芸術文化事業の再開推進